

トピックス  
**TOPICS 4**

**最後の卒業証書授与式**

令和元年度末をもって閉校となった鶴子小学校と玉野中学校で、最後の卒業証書授与式が行われました。



全校児童と一緒に「旅立ちの日に」を合唱。

下級生からのお別れのことばの後、唯一の卒業生となった伊藤優誠さんが「先生方から教わったことを活かしてこれから頑張ります。鶴子小学校での思い出を胸に、あきらめない人になりたいと思います」とあいさつし、最後は全員で校歌を斉唱しました。

同校は常盤小学校との統合により、134年の歴史に幕を閉じました。結城校長は「学校がなくなっても学んだことと鶴子は残り続けます。鶴子を誇りに思ってください」と式辞を述べられました。

**鶴子小学校 3月18日**



お世話になった方々への感謝の気持ちを込め、卒業生全員で合唱。

卒業生12人を代表して藤井聖大さんが「夢を描き続けることの尊さを語り、行き先を照らしてくださいと先生方、何気ない日々をかけたがえのない日々にしてくれた玉野中学校、ありがとうございました」と答辞を読み上げ、最後は卒業生全員で「ひまわりの約束」を合唱しました。

同校は尾花沢中学校との統合により、73年の歴史に幕を閉じました。豊島校長は「挫折や失敗を経験しても玉野の先人のように努力に努力を重ね力強く生きていきましょう」と式辞を述べられました。

**玉野中学校 3月16日**

トピックス  
**TOPICS 1**

**表彰**

3月9日、矢作廣昌氏が農林水産業分野で活躍する若者の優れた功績などを顕彰する村山地域農林水産業若者賞を受賞しました。

これまでの功績に敬意を表し、今後益々のご活躍を祈念いたします。



「賞の名に恥じぬよう、これからも頑張っていきたい」と、受賞の感想を述べられた矢作氏。

矢作氏は、夏の露地スイカ栽培を経営の柱として、秋のトマト栽培、冬の促成アスパラガス栽培とスイカ苗生産を導入し、周年農業を実現しています。また、山形県青年農業士として活躍されているほか、新規就農希望者を研修生として受け入れ、農家としての自立を支援しています。これらの取り組みが、周年農業による地域内雇用の創出や農業の担い手育成に貢献していることが高く評価され、この度の受賞にいたしました。受賞おめでとうございます。

村山地域農林水産業若者賞  
矢作 廣昌 氏(荻袋1)

トピックス  
**TOPICS 2**

**市民のご意見箱**

4月1日より市役所市民サロンと各地区公民館に「市民のご意見箱」を設置しています。



「市民のご意見箱」は、庁舎内では市民サロンに設置。

市では、市民の皆様から寄せられるご意見・ご提案を行政運営に反映し、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、「市民のご意見箱」を設置しています。お寄せいただいたご意見等は、市政に活用・反映するほか、庁内情報共有するなどして暮らしやすいまちづくりに役立たせていただきます。また、ご意見・ご提案に対しては、ご本人の意向に基づき市から回答させていただきます。ぜひご利用ください。

「ご意見・ご提案をお寄せください」

トピックス  
**TOPICS 3**

**市に寄付金の贈呈がありました**

(株)奥山建設様、(有)はながさバス様から寄付金贈呈



(株)奥山建設様から寄付をいただきました。



(有)はながさバス様から寄付をいただきました。

3月26日、(株)奥山建設工業所様から、新型コロナウイルス感染症対策に活用してほしいと寄付金が手渡されました。  
(有)はながさバス様からは3月27日、新型コロナウイルス対策及びオリンピック関連事業に活用してほしいと寄付金が手渡されました。市では温かい善意に感謝することにも、有効に活用させていただきます。



**市長コラム**

少雪の尾花沢に駆け足で春が訪れ、穏やかな日差しの中、4月を迎えました。例年なら春の農作業の準備に追われ、入園や入学などで新生活を始める方、転勤や異動により心機一転フレッシュして仕事に励まれる方もおられるはずなのに、今季は一変しております。新型コロナウイルス感染症が世界的に流行していることを受け、本市でも観光客の減少、消費の低迷など、様々な問題が発生しております。今後も様々な分野に影響が及ぶのではと懸念されております。市民の皆様が市がどの様な対策を講じているかを随時お知らせするとともに国・県と協力し、安全対策を講じてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本市も新たな体制と予算のもと新年度がスタートしました。「安心して子育てできるまち」「いつまでも元気に暮らせるまち」「雪や災害に強いまち」「地域資源を生かした活力あるまち」の4つの柱をもとに、病児病後児保育事業や徳良湖周辺整備事業等の新規事業のほか、「こども議会」や「元気な尾花沢を語る会」で頂戴したご提案を具現化する事業にも取り組む、住んで良かったと思っていただけ「人」にやさしくあったかい元気な尾花沢を目指してまいります。

また、まちづくりの指針である第6次尾花沢市総合振興計画が今年度で終了となります。十年間の計画を検証し、皆様の声をお聞きしながら第7次総合振興計画の策定を進めてまいりますので、一層のお力添えをお願い申し上げます。

尾花沢市長 菅根 元雄